

平成 30 年度 大北地域 森林づくり県民税活用事業の実績

平成 31 年 3 月末日

1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備

防災・減災のための里山等の整備

1 みんなで支える里山整備事業

「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所を市町村が策定する「里山整備方針」に記載し、森林整備（間伐）を実施します。

- ・事業主体 市町村、森林組合、NPO 法人、森林所有者の団体等
- ・補助率 9/10

H30 実績

市町村 (事業箇所)	事業主体	間伐面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備考
大町市 (鷹狩山)	高橋鴻生	1.24	323	290.7	(保育間伐)
松川村 (川西)	(企)山仕事 創造舎	1.10	275	247.5	(保育間伐)
計	2 箇所	2.34	598	538.2	



【大町市 鷹狩山地籍 保育間伐の実施状況】



【松川村 川西地籍 保育間伐の実施状況】

手入れの遅れていたヒノキ人工林を、防災・減災の観点から緊急的に間伐しました。

2 里山整備方針作成事業

森林づくり県民税を活用した「防災・減災」及び「住民等の利活用」のための里山の整備を進めるため、航空レーザ測量の成果等を活用して危険性が高い箇所を絞り込み、優先整備箇所の特定、図面化をすることで、森林づくり県民税の効果的な活用と取組の見える化を図ります。

- ・事業主体 市町村、森林整備協議会等
- ・補助率 10/10

H30 実績なし

里山整備方針：大町市・松川村は策定済み

3 県単河畔林整備事業【建設部（河川課）所管事業】

県が管理する一級河川の区域外（民地）の河畔林、市町村が管理する準用河川区域とその周辺の河畔林のうち、防災効果が高い箇所の整備を推進します。

- ・事業主体 県、市町村
- ・補助率 9/10（県営事業は全額県費にて実施）

H30 実績

事業主体	事業箇所	事業費	補助金額	備考
長野県 (大町建設事務所)	金熊（かなくま）川 (河畔林整備)	1,803.6	—	県営事業

県民協働による里山の整備・利用

1 みんなで支える里山整備事業

長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」において、住民協働による里山の整備を促進するとともに、多面的な森林資源の利活用を進めることで、自立的・持続的な森林管理の構築を図ります。

- ・事業主体 市町村、森林組合、NPO 法人、森林所有者の団体等
- ・補助率 9/10

H30 実績

市町村 (事業箇所)	事業主体	整備内容	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備考
池田町 (大峰高原)	大北森林組合	間伐 1.37ha	870	783	トウヒ搬出間伐



池田町大峰高原で地元協議会構成員である大北森林組合がトウヒの間伐を実施しました。作業中には、地元保育園児が「森のお仕事見学会」として間伐作業の見学に訪れました。

北アルプス管内の里山整備利用地域認定状況（H31.3末日現在）

市町村	地区名	認定面積	認定年月日	活動推進団体
小谷村	梅池	116ha	H20.3.27	梅池地区里山を守る会
池田町	大峰高原	316ha	H30.12.28	大峰高原里山利用推進協議会
白馬村	飯田	191ha	H31.3.11	飯田地区森林整備協議会
計	3地区	623ha		

【H31.3月末 全県で 42 地区 9,272ha 認定済】

2 里山整備利用地域活動推進事業

地域住民による里山の整備・利活用を促進するため、「里山整備利用地域」の認定地域において、地域住民による里山整備利用推進協議会の立ち上げ及び里山整備利用地域活動計画の作成等を支援します。

- ・事業主体 里山整備利用推進協議会
- ・補助率 10/10

H30 実績なし

3 里山資源利活用推進事業

里山の資源を有効に活用し地域に還元する仕組みづくりを進めるため、自立的・持続的な管理体制の構築に必要な資材の導入等を支援します。

- ・事業主体 里山整備利用推進協議会
- ・補助率 3/4

H30 実績なし

里山の森林整備の推進

地域で進める里山集約化事業

小規模な個人有林や不在村者所有森林等が多い里山の森林整備を推進するため、間伐事業実施地の森林所有者の合意形成や、所有者の境界を明確化する取組を支援します。

- ・事業主体 自治会組織、林業事業者等
- ・補助率 定額

H30 実績なし

2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

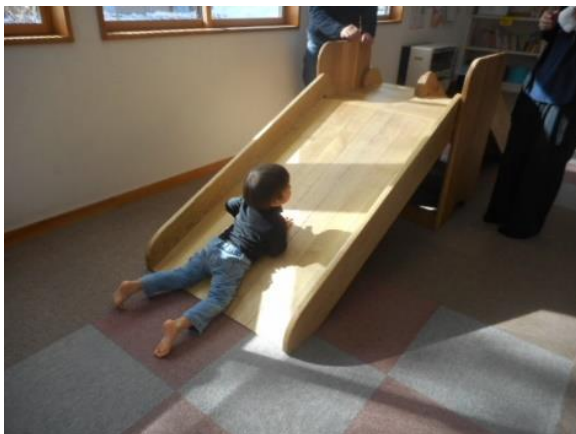
地消地産による木の香る暮らしづくり事業

県産材に囲まれた地域づくりや未来における県産材利用者づくりを推進するため、観光地等における県産材公共サインの作成や児童センター等の「子どもの居場所」の木造・木質化など、長野県独自の県産材利用の取組を実施します。

- ・事業主体 県、市町村、公共的団体等
- ・補助率
- ・県産材公共サインの作成（県事業）
- ・子どもの居場所木造・木質化等 1/2（公募事業）
- ・木の調度品、おもちゃ等の設置 3/4（公募事業）
- ・木工体験活動支援 3/4
- ・木工コンクール（公共的団体） 3/4

H30 実績

事業主体	事業内容 及び 設置場所等	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	補助率
大町市	木のおもちゃの設置 ・大町市児童センター (滑り台) ・大町総合病院 (木のおもちゃ) ・しらかば保育園 (積木・おもちゃ箱)	507.17	376.5	3/4
特定非営利 活動法人 キッズウィル (大町市)	木の調度品の設置 ・キッズウィル児童支援セ ンター (テレビ台・シェルフ)	494.64	370	3/4
計 2箇所		1,001.81	746.5	



大町市児童センター 滑り台

NPO 法人キッズウィル テレビ台・シェルフ



薪によるエネルギーの地消地産推進事業

里山の自立的・持続的な維持管理を図るため、身近な里山資源である「薪」を継続的に利用する仕組みを構築します。

- ・事業主体 県、市町村、公共的団体等
- ・補助率 3/4（公募事業）

H30 実績

事業主体	事業内容	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	補助率
大北森林組合	組合員参加による地域広葉樹を薪として利用する仕組みづくり	570.188	427	3/4



先進事業体の調査（伊那市・松本市）



活動成果発表会（白馬村ヤフーベース）

組合員参加による「薪バンク」の開設に向け、組合員へのアンケート調査、地域の広葉樹資源調査及び先進地視察等を行い、原料調達の可能性や供給方法等を検討しました。

今後は、地域資源を活かしながら組合員にも利益を還元できる「地消地産」型の薪供給システムの構築を目指して活動を継続します。

松くい虫被害木利活用事業

山林に放置され、有効活用されていない松くい虫被害木を有効活用し、地域が主体となっていく松くい虫被害木駆除の更なる取組を推進するため、松くい虫被害木を木質バイオマス発電の燃料（チップ）に資源化して利活用する取組等を支援します。

- ・事業主体 市町村
- ・補助率 9/10

H30 実績なし

3 森林づくりに関わる人材の育成

里山整備利用地域リーダー育成事業

持続的に地域の森林を適正に管理していく体制を構築するため、里山を管理・利用する地域活動のコーディネーターや技術指導等を行う人材、地域の里山を維持管理する人材を育成します。

- ・事業主体：県

大峰高原里山整備利用地域（池田町）関係者（2名）が伊那市高遠町で開催された研修会に参加しました。（2月）

森林セラピー推進支援事業（人材育成等）

森林セラピーガイドの育成等を通じて、本県の森林セラピーの利用を促進するとともに、関連する産業（観光、健康、環境、産業）との連携を強化し、地域資源として積極的に活用していくため、セラピー基地等の魅力向上を図るとともに、利用者の増加、満足度の向上を図ります。

- ・事業主体 県

森林セラピー基地あたりの運営等実務者（小谷村職員）が、森林セラピー基地等協議会委員として会合等に参加しました。

4 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

森林の教育利用の推進

1 学校林等利活用促進事業

周囲を森林に囲まれた長野県で学ぶ児童・生徒が、森林・林業に親しみを感じ、次世代の森林づくりに理解を深めるとともに、学校林の活用を推進するため、手入れが放置され利用困難になっている学校林について、森林税により集中的に整備します。

- ・事業主体 県、市町村等
- ・補助率 9/10

H30 実績なし

2 信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業

【県民文化部（次世代サポート課）所管】

豊かな森林資源や自然環境を活用した「信州やまほいく」の認定園の活動フィールドの整備等を行うことで森林を活用した保育の安全性確保及び教育環境の充実を図ります。

- ・事業主体 「信州やまほいく」認定園の設置主体
- ・補助率 9/10、1/2

H30 実績なし

まちなかの緑地整備事業【建設部（都市・まちづくり課）所管】

市街地における木々に親しめる緑地の整備を集中的に推進するため、市町村及び民間団体が行う緑地の整備に対して補助します。また、整備された緑地での地域住民等による緑育・緑化活動につなげます。

- ・事業主体 市町村、民間団体
- ・補助率 1/2、1/3

H30 実績なし

観光地における景観形成のための森林等の整備

1 観光地の景観整備（県単道路橋梁維持修繕費）【建設部（道路管理課）所管】

山岳高原リゾートを形成する観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施します。また、この事業による街路樹剪定の実施は、「街路樹剪定士」資格保有者による作業とし、資格取得者の拡大を促すとともに、モデル事業として剪定技術に関する講習会など街路樹管理技術向上の醸成を図ります。

- ・事業主体 県

H30 実績なし

2 観光地等魅力向上森林景観整備事業

豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等を推進し、観光地等の魅力向上を図ります。

- ・事業主体 市町村
- ・補助率 9/10

H30 実績

事業主体	事業内容	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備考
大町市	鷹狩山山頂の眺望等確保のための森林整備（支障木伐採） 0.4ha	302.4	271.8	



大町市鷹狩山山頂の眺望確保のための支障木伐採の状況

森林セラピー推進支援事業（施設整備支援）

森林セラピー基地の利用促進と関連する産業（観光、健康、環境、産業）との連携を強化し、地域資源として積極的に活用するため、セラピー基地等の魅力向上を図り、利用者の増加、満足度の向上を図ります。

- ・事業主体 市町村
- ・補助率 9/10（森林整備）、1/2（施設整備）

H30 実績

事業主体	事業箇所及び内容	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備考
小谷村	森林セラピー基地おたり ・森林整備 4ha（危険木等伐採） ・施設整備 案内石柱設置 55本 チップロード整備 740m	3,922.9	2,400	



森林セラピー基地おたり 案内石柱整備



チップロード整備

5 市町村に対する財政調整的視点での支援

森林づくり推進支援金

森林づくり指針に掲げる方針を踏まえつつ、森林に関する様々な課題解決のための市町村の取組を支援します。

- ・事業主体 市町村
- ・地域固有の課題解決に取り組む市町村（全市町村対象）

H30 実績

市町村	支援区分	事業内容	対象事業費 (千円)	支援金額 (千円)
大町市	木を活かした力強い産業づくり	木のぬくもりプレゼント事業（幼児への県産材積木プレゼント200セット）	928.8	900
	みんなの暮らしを守る森林づくり	森林外の国庫補助事業の対象とならない松くい虫被害木の伐倒駆除 9本	799.2	754
	計		1,728	1,654
池田町	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備 0.42ha（鶺山地区）	988.2	478
	みんなの暮らしを守る森林づくり	所有者等が行う松くい虫被害木処理や予防対策の薬剤購入の補助 22件	539.191	269
	計		1,527.391	747
松川村	みんなの暮らしを守る森林づくり	アカマツ枯損木を早期発見するための松林監視員の設置 監視員1名 5か月	216	216
	森林を支える豊かな地域づくり	松川村山の日植樹祭実施地地拵え及び遊歩道等管理 地拵 0.5ha 外	539.191	390
	計		755.191	606
白馬村	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備 1.99ha（北城塩島地区）	604.56	604
	みんなの暮らしを守る森林づくり	ナラ枯れ被害の拡大防止のための伐倒駆除 2本	235.44	215
	計		840	819
小谷村	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備 8.6ha（梅池チップロード・コルチナチップロード）	1,208	910
	計		1,208	910
計 5市町村			6,058.582	4,736

【再掲】

事業項目	市町村数	事業費(千円)	支援金額(千円)	備考
みんなの暮らしを守る森林づくり	4	1,789.831	1,454	補助率： 10/10以内
木を活かした力強い産業づくり	1	928.8	900	
森林を支える豊かな地域づくり	4	3,339.951	2,382	
計	5	6,058.582	4,736	

森林づくり推進支援金交付要綱（抜粋）

（平成 20 年 3 月 26 日付け 19 森政第 475 号林務部長通知）
（一部改正 平成 30 年 5 月 14 日付け 30 森政第 98 号林務部長通知）

（検証、評価及び公表）

第 12 市町村長は、森林づくり推進支援金事業総括書（以下「総括書」という。）により当該交付の対象となった事業の検証及び評価を行い、その内容を地域振興局長に報告するとともに、公表しなければならない。

森林づくり推進支援金事業実施要領（抜粋）

（平成 20 年 3 月 26 日付け 19 森政第 476 号林務部長通知）
（一部改正 平成 30 年 5 月 14 日付け 30 森政第 99 号林務部長通知）

（事業内容の検証、評価及び公表等）

- 第 11 要綱第 12 に規定する森林づくり推進支援金事業総括書（以下「総括書」という。）は、別記様式第 15 号によるものとする。
- 2 総括書の提出は、要綱第 9 に規定する森林づくり推進支援金事業実績報告書の提出と同時にを行うものとする。
 - 3 地域振興局長は、総括書を別に定める「みんなで支える森林づくり地域会議」に報告し、意見を聴いた上で、その結果を市町村に報告するものとする。
 - 4 市町村長は、前項の報告を踏まえ、事業の検証及び評価の結果を公表するものとする。

6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証

1 みんなで支える森林づくり推進事業

森林の役割や森林づくりの重要性等について、県民の理解を深め、多様な主体による森林づくりを促進するため広報・普及啓発活動を実施します。また、県民会議、地域会議による税活用事業の評価・検証を行います。

・事業主体 県

2 森林（もり）の里親促進事業

里山や山村集落へ県が仲立ちとなり企業等の社会貢献活動や福利厚生活動を誘導し、森林整備と交流を通じた地域活性化を図ります。

○ 北アルプス管内の森林（もり）の里親制度の状況

市町村	協定（契約）状況				支援金	活動内容
	里親 （企業）	里子 （地元）	契約日	期間		
大町市	サントリーホールディングス(株)	大町市	H31.3.18	30年間	-	大町市有林における森林整備活動
池田町	住友理工(株)	池田町 (広津自治会)	更新②H29.9.22 更新①H24.8.10 当初 H20.7.1	5か年	80万円/年	大峰高原の民有林で年3回活動(森林整備・木工教室等)
	(株)相互	池田町 (広津自治会)	更新②H30.2.23 更新① H24.10.26 当初 H22.6.6	5か年	30万円/年	大峰高原近隣の民有林で年2回活動(森林整備)
白馬村	長野トヨペット(株)	白馬村 (白馬岩岳観光協会)	更新③H30.4.1 更新②H27.4.1 更新①H24.4.1 当初 H21.12.22	3か年	約7万円/年	岩岳地域の民有林で年1回活動(緩衝帯整備)

【参考：契約満了】

松川村	楠つばくろ電機	松川村	H20年度終了 (交流は継続)	-	-	-
	東京アート(株)	松川村	28年度終了	-	-	-



平成31年3月に、大町市とサントリーホールディングス(株)との間で30年間にわたる森林(もり)の里山協定が締結されました。

3 地球温暖化防止木材利用普及啓発事業

県産材住宅や事務所・N 店舗を木質化した企業等に対し、木材のCO₂固定量を認証し、地球温暖化防止や環境への関心を高めるとともに、県産材の消費拡大を図ります。

・事業主体 県



平成 30 年度に新駅舎に建て替えられた JR 大系線信濃松川駅が、CO₂固定量 8.0 t-CO₂ と認証されました。

(県産材使用量 11.8m³ (構造・内装材に県産ヒノキ使用) 平成 31 年 2 月 23 日供用開始)

4 地球温暖化防止吸収源対策推進事業

企業等との連携により整備された森林のCO₂吸収量を認証し、企業等のCSR活動の「見える化」をすることで、地球温暖化防止につながる森林整備を推進します。

・事業主体 県

平成 30 年度には、池田町と森林（もり）の里親協定を締結する住友理工（株）の支援により整備された森林 35.83ha の CO₂ 吸収量が 248.3 t-CO₂/年と認証されました。